



ほたる舞う学び舎

令和2年度 9月号

学校だより



あきる野市立一の谷小学校 校長 池戸龍一

い 命・人権・平和を大切に
ち 力いっぱいがんばり
の 伸び伸びと
た 楽しく活動
に ニコニコ笑顔の絶えない
「いちのたに」の子

特別の夏を乗り越え、大きく成長する2学期へ

校長 池戸 龍一

新型コロナウイルス感染予防の中で迎えた令和2年度の夏休みは、子供たちにとっても特別の夏となりました。各御家庭におかれましても、感染リスクを避けるため、帰省や旅行を控える傾向にあったことから、いつもの夏休みの楽しみがなくなってしまったり、目標にしていた大会が中止になりチャレンジしようと思っていたことがなくなってしまったりして、どう夏休みを過ごそうか、子供たちはもちろんですが、保護者の皆様も悩まれたことと察してやみません。

学校では、この夏休み中にコロナウィルスの収束を期待しつつ2学期の準備をしておりましたが、未だ収束には至らず新学期を迎えることとなりました。先行きが見えない不安の中ではありますが、未来に生きる子供たちのためにも、子供たちと共に、「大変な時」は「大きく変わるチャンスの時」とポジティブに捉えて、前に進んでまいります。保護者の皆様には、引き続き本校の教育活動への御理解御支援を賜りますようお願い申し上げます。



暑さにも負けず育つ子供たちと池の蓮の花

新しい時代の新しい対話を

コロナ禍の中でやっと再開した1学期は、未だ経験したことのない不安の中で、手探りの教育活動となりました。十分とは言えないものの可能な限り学習環境や授業内容の工夫をして、多くの子供たちが不安の中でも意欲的に学習に取り組んでいました。そうした中での子供たちの笑顔は、日々重なる対応で疲弊する教員のエネルギーともなりました。

この夏休み中も、少しでも子供たちを支援したいと、平日は毎日、学習・相談コーナーを設け、担当教員があたりました。人数は少ないものの、毎日のように子供たちが通ってきました。担任の先生の担当日に通ってきた児童もおりましたが、通った日にたまたま出会った先生と学び、「先生の教え方、とても分かりやすかった。今度、いつ来るの?」と言われ、やってよかったと語っていた教員もおりました。

2学期は、1学期に予定していた運動会や日光移動教室に加え、3学期に延期した展覧会や本校の特色ある教育活動である伝統・文化発表に向けた取組も予定されています。どれも子供たちにとって大切な行事です。これらの実施につきましては、今後の状況を踏まえ、安全対策を取りながら、また今までの形式に捉われず、計画・準備を進めてまいります。また、授業に関しましても、指導内容の完全実施はもちろんです。本来、今年度から完全実施となった新学習指導要領の大きな柱の一つである「主体的・対話的で深い学び」にも力を入れていかねばなりません。1学期、一の谷小の子供たちの様子から、学校で学ぶことの楽しさや自力で課題に取り組む力を身に付けた子供たちが多かったと実感しています。しかし、学び合い、深め合いのポイントとなる対話は全くできない状況でした。今学期は、最大の感染対策を取りながら、ICTなどの活用や学習環境、学習形式を工夫して、新しい時代の対話を取り入れた充実した教育活動の実施に努力してまいります。各教育活動の実施につきましては、簡単にはいかないと思います。保護者の皆様の考えも多々あるかと思えます。ゆえに今後は、今まで以上に保護者・地域の皆様との対話も大切にし、様々な方法を取り入れてまいりますので、御理解御協力の程お願い申し上げます。